

建築設計者のための技術講座シリーズ

第1回 地震のことをもっと知るための集い

近年の建築設計界を眺めていると、意匠・構造・設備など設計担当の分業化が進展し、担当者は、個々の専門分野に特化する傾向が強くなってきているように見えます。

建築プロジェクトをリードし、コーディネートをおこない、クライアントとの信頼関係を築いてゆく役割を担う建築設計者には、関連技術分野に幅広い視野をもつ必要があります。

現状では、異なる技術分野の専門家から基礎的な知識や情報を得たり、交流をはかる機会が意外と少ないのではないかと思います。

このたび、事業企画の一端として、建築設計者を対象に、前述したような観点からのセミナーを技術講座シリーズと銘打って企画したいと思います。

第1回目は、「地震のことをもっと知るための集い」と題して、地震学の発展や経緯を含めた地震の基礎的な知識や、東日本大震災で何がおこり、何がわかってきたのか、関東大震災などの過去の震災を踏まえ、今後予測される首都圏直下地震などにどう向き合うのかなどのお話について、名古屋大学減災連携研究センター教授の武村雅之氏に講師をお願いし、地震学研究者の視点から講習（セミナー）をおこなっていただく企画としました。

主 催 日本建築学会関東支部
日 時 6月15日（金）18:00～20:00
会 場 建築会館会議室（東京都港区芝5-26-20）
定 員 50名（申込先着順・無料）
申込み [こちらからお申し込みください](#)